



## 第143号

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

写真／和田稔(萩市椿東)

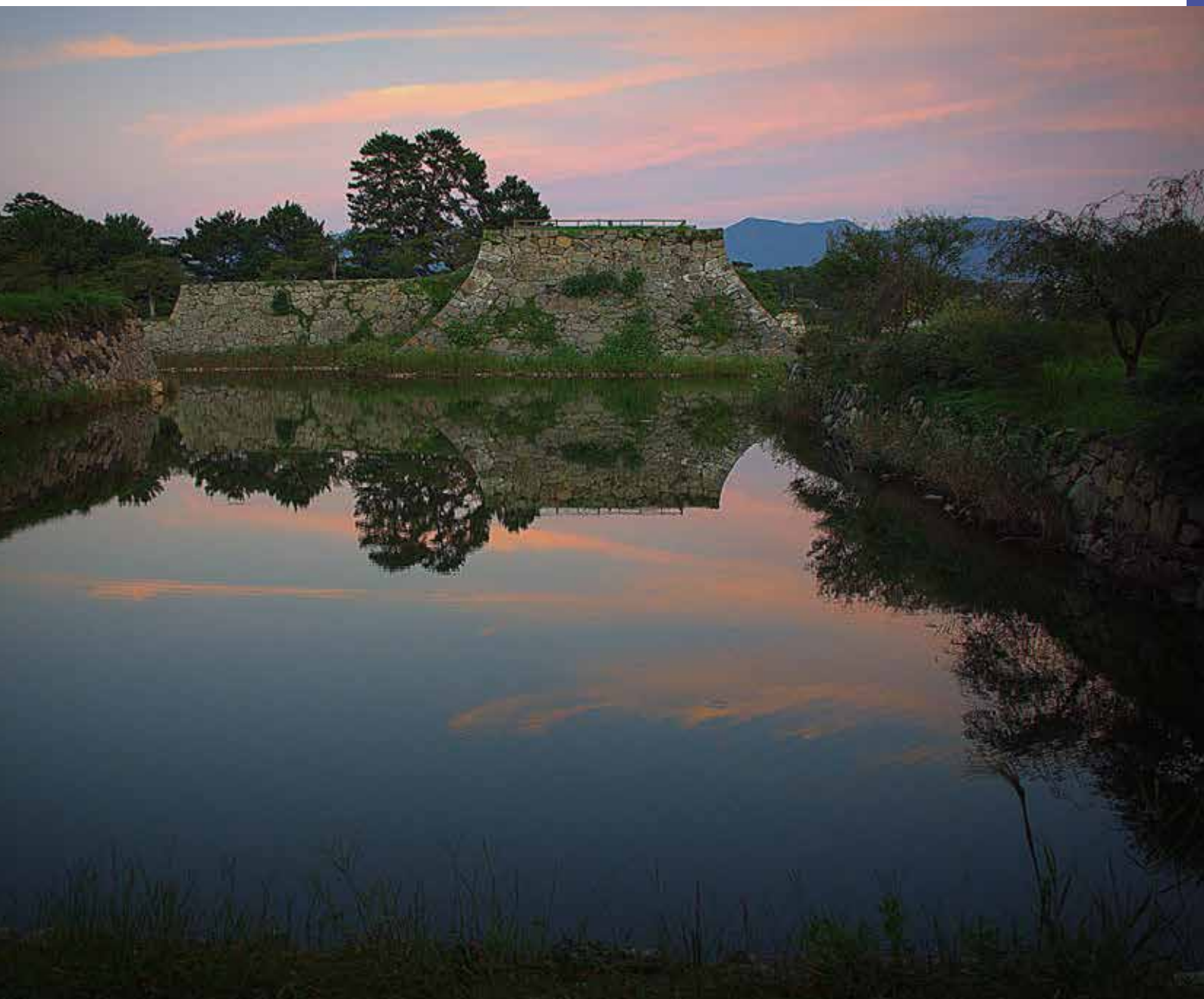
### 主な内容

魅力発信セミナー	P2
明治維新 150 年 剣道大会	P3
イージス・アショア	P5
ズームアップ 和田幸子(東京都)	P6
阿武の鶴酒造 三好隆太郎(阿武町)	P8
萩の方言、萩の夜を愉しむ	P9
連載 萩の産業遺産を歩く⑧	P10

萩城は明治7(1874)年に解体された。石垣を残すだけの萩城跡は、明治維新、封建社会から近代社会の始まりを視覚的に表す。「やまぐちフォトコンテスト」(2017年秋)で、韓国人の審査員により「やまぐち大賞」に選ばれた作品「萩城址」。

2017年の萩市の観光宿泊客数は44万5千人、うち外国人は2万3千人。4年前に比べ5倍以上増加している。萩観光マーケティング調査では、国別割合は韓国65%、台湾11%、中国9%、アジア近隣国が85%を占めている。

## 夕闇が迫る萩城址 水面に映る世界遺産の遺構



# 東京目白・椿山荘で、萩の魅力の世界に発信

外務省は6月21日、「地域の魅力発信セミナー」を萩市、新潟県、五島列島（長崎県）、養父市（兵庫県）と合同で、ホテル椿山荘東京（文京区）で開催した。

このセミナーは、地方自治体が駐日外交団等に対して地域の施策や魅力をアピールする場として



和服姿で萩の夏みかんをPRするエマ・ヒロさん(左)と藤道萩市長

設けられ、第1部では参加自治体が観光の見どころ、特産品等についてプレゼンテーションを行った。

萩市は「萩ならではの和を築こう〜萩焼・夏みかん〜」と題して、藤道健二市長と英国出身の国際交流員エマ・ヒロ

さんが和服姿で登壇し、萩焼・夏みかんなど萩の魅力を紹介した。藤道市長は「食の魅力をはじめ、語り尽くせない魅力いっぱい、萩で、皆さんをお待ちしています」と笑顔で呼びかけた。

第2部の交流会では、陶芸家の松尾優子さんの指導による萩焼の絵付け体験や、道の駅萩しーまーと駅長の山口泉さんによる萩の魚のPRほか、アマダイの寿司等の試食もあった。

人口減少・少子高齢化が進展する中、国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力の発展を目指して、駐日外交団とのネットワーク作りの促進が期待される。

## 萩の息吹を感じる「ホテル椿山荘東京」

椿山荘周辺は、椿が自生する景



勝の地で「つばきやま」と呼ばれ、萩出身の明治の元勳・山県有朋が私財を投じて購入、邸宅をつくり「椿山荘」と命名した。山県は作庭について一言を有し、日本で最も天然趣味に優れた名園と評価された。今日も残る山県の名園には、京都の無隣庵、小田原の古稀庵、東京目白のホテル椿山荘東京がある。庭園は萩の地形を再現し、ふるさとに思いを馳せたのではと

言われている。現在は藤田興業の所有となり、結婚式場の名門として、また宴会やガーデンレストランとして利用されている。庭園 午前6時〜午後11時（ホテル利用者のみ）

東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」から徒歩10分、山手線「目白駅」から都バス約10分  
(03・3943・1111)

## 「萩しーまー」と駅長の山口泉さんに聞きました

アマダイの寿司の試食では、「アマダイ」よりも「寿司」という響きに惹かれ試食される方が多かったです。生の魚も寿司にするのと抵抗なく食べていただけることを実感したので、今後のPR方法に生かしたいと思います。

セミナー会場では、萩市までの交通アクセスに時間がかかることが指摘されました。萩市のインバウンド対策として、WEBでの情報発信など短期的にできることはもちろん、今後のために交通手段や案内表示など幅広い客層を迎える体制を整える取り組みが必要だと思いました。



萩の魚をPRする山口泉さん

## 見島航路に来年4月、高速新船「ゆりや」が就航



新船のイメージ図、船体は見島の自然をイメージした青緑色

萩市の萩海運有限会社が運航する、離島の見島と萩港を結ぶ新しい定期船の名称が「ゆりや」に決まり、来年4月に就航する。運航時間は、1時間10分で島と本土を結ぶ。

「ゆりや」の名称は、見島に生息する世界的にも希少な緑色の貝「ユリヤガイ」に由来する。公募で市内外から333件の応募があり、「ゆりや」は7件。新船は全長46メートル、2700トンで旅客定員は現船と同じ200人。



# 明治維新150年 「有備館」で薩長土肥の剣道大会 剣槍術の聖地に



有備館

人が出席した。

萩市剣道連盟の横山賢治会長は「武道の良さの再認識につながってほしい」と期待を込めた。

毛利元敦氏は「嘉永2年、藩主毛利敬親が堀内の明倫館を、文武両道、人材育成のため、江向の地に拡張、移転したのが新明倫館です」とあいさつした。式典では、浜崎の住吉神社に奉納される「お船謡」も披露された。

6月24日には市民体育館（樺）で第1回「高杉晋作旗・有備館剣道大会」が開催され、薩長土肥の4県をはじめ、九州、四国、中国の強豪105チーム、500人が参加した。

初開催ながら好評だったことから、実行委員会では既に来年の大会に向けて準備を始めている。

## ■「有備館」

6月23日に明倫小学校校体育館で、「薩長土肥」と呼ばれた鹿児島、山口、高知、佐賀4県の国体成年女子強化選手15人が、模範試合を披露した。女性剣士の激しい打ち合いを、翌日の剣道大会に参加する小学生が見学した。

1849（嘉永2）年ごろに建設された木造平屋建て。板の間39畳の剣術場と土間54畳の槍術場に、藩主の上覧場を備えた道場。名称は江戸桜田の藩邸内にあった藩の文武講習所にちなんで名づけられた。萩藩士の稽古場のほか、「他国修業者引請場」として、文

久2年には幕末の志士、坂本龍馬も訪れて試合を行ったと言われている。

## ■実行委員会事務局の柳井正司さん(井上商店統括チーフ)に聞きました

萩市剣道連盟顧問である井上商店の井上伊三郎会長は、有備館の活用について常々言っていた。維新150年に合わせて剣道大会を行う、聖地として有備館を広めたいという思いが、今回の実現につながった。

井上会長は、小・中・高・大学とずっと剣道部。その関係で福岡大学剣道部OBの方々を呼ぶことができた。

今回初めて、イベントの取りまとめ役として、ゼロから立ち上げる経験をさせていただいた。覚悟を決める気構えがないと、何事も成功しない。一過性の火花ではなく、継続してやっていきたい。

全席リクライニングシートを採用し、通路やトイレなどはバリアフリーに対応。

1998（平成10）年に就航した現在の定期船「おにようず」（258ト）に比べ、エンジン馬力が向上し、新型プロペラの採用により振動の軽減が図られる。

現在の旅客運賃 大人1940円、小人970円  
萩海運（0838・25・2040）

## ■見島の近況

航空自衛隊見島分屯基地に、弾道ミサイルを感知する最新型の警戒管制レーダーが建設中、平成30年度中の完成予定。

特定有人国境離島地域に国が指定、支援策として29年4月から島民の航路運賃が半額程度に割引された。

7月末の人口は775人。

萩市は6月23日、明治維新150年を記念し、萩市江向の国指定史跡、旧萩藩校明倫館にある稽古道場「有備館」を「剣槍術の聖地」とすることを宣言した。

有備館顕彰記念式典で、藤道健二市長は「剣槍術による人づくりが、明治維新の原動力の一つとなっていた。有備館は貴重な萩市の財産、国の財産」とあいさつし、聖地宣言を行った。

式典には、日本武道館常任理事の河村建夫衆議院議員、山口県の弘中勝久副知事、毛利家子孫で毛利報公会の毛利元敦会長ら約60



高杉晋作旗・有備館剣道大会



▶プログラムを紹介する柳井正司さん



見島  
山口県 萩市

# 戊辰戦争150年 白河戊辰150周年記念「合同慰霊祭」に萩市長らが参加

戊辰戦争で東西両軍が雄雄を決し、千人以上が亡くなった「白川口の戦い」の合同慰霊祭が、7月14日、激戦地の福島県白河市で戊辰戦争150周年を記念し、30年ぶりに開かれた。

会津若松市や仙台市の「東軍」と、萩市や鹿児島市の「西軍」から約千人が出席した。萩市から市長ほか50人が参加した。

白河市の鈴木和夫市長は「歴史を再検証し、白河の土地柄、人柄を見つめ直したい。合同慰霊祭を契機に、関わりを持つ地方自治体間の交流が活発になることを期待する」とあいさつした。

萩市の藤道健二市長は、両軍の兵と一緒に犠牲者を慰霊した「白河踊り」が山口県に伝わることに触れ「150年前からの縁を大切にし、先人たちの思いを次世代に伝えたい」とあいさつし、「行政が橋渡し役となり、和解は難しくても、理解を進めていく」と話した。

ビデオメッセージを寄せた安倍首相は、「白河の地から近代日本を形づくる一体感と融和の精神が育まれ、全国に広まった」と両軍を吊った白河の先人を讃えた。



▷合同慰霊祭の様子（7月14日、白河市）

## 歴史に大きな足跡を残した「白河戦争」

慶応4年（1868）に起きた戊辰戦争で、長州・薩摩・土佐藩などの新政府軍（西軍）と会津・仙台藩を中心とした奥羽越前藩同盟軍（東軍）が、小峰城（白河城）をめぐる戦いで、戦局に大きな影響を与えた。閏4月から7月まで約100日間の戦いは、激戦地であり、1000人以上の死傷者があったとされ、犠牲者には農民や町人もいた。戊辰戦争から150

年を経た今も、白河の人々は両軍の犠牲者を分け隔てなく弔い、慰霊碑を守りながら、供養している。

**慰霊祭に招待された中原正勇さんに聞きました。**

（株）中原工務所（樽屋町）の中原さんは、山口県内に伝わる「白河踊り」を10年がかりで調査した成果を「白河踊り〜奥州白河からふるさとへ伝えた盆踊り」として、昨年12月に出版した（萩ネットワーク18年3月号で紹介）。

白河踊りは、150年たった今でも、萩市の大井、田万川、むつみ、福栄、佐々並、玉江、中小畑、大屋をはじめ、山口県の80を超える地区と岐阜県の5地域に伝承されている。歌詞（口説き）は、白河と同じものや、地域のお国自慢のものも後に作られたようだ。

150年前、遙か遠い奥州白河の地で、白河領民たちと新政府軍の兵士たちとの奇妙な状況下で生まれた不思議な絆。その「白河踊り」をご縁に、未来に向けてさらに交流を深めて、より太い絆で結ばれることを願わずにいられない。

# 旧明倫小学校の活用案を募集 今年度中に最終案

萩市は、未活用の旧明倫小学校の3・4号棟が、経年により校舎の老朽化が進んでいることから、早期に整備方針を検討する必要があるため、2棟の活用について8月末まで意見を募集した。

藤道市長は「現存する校舎を残し活用する場合や、解体して跡地を活用する場合などを含め、制約なくあらゆる可能性を想定している」と話す。寄せられた意見を参考に市で複数案を示し、議会や市民の声などを踏まえて、今年度中に最終案をまとめる予定。

校舎2棟は、1935（昭和10）年の建築。木造瓦ぶき2階建て、延べ床面積は各1770平方メートルで、1棟に15教室。萩市指定文化財。

萩市では当初、昨年3月に開館した観光施設「萩・明倫学舎」の一部として改修整備する方針だった。昨年3月の市長選で、次世代に負担を残すとして、明倫学舎整備の見直しを公約に掲げた藤道市長が初当選。整備継続の是非を判断する



現在の明倫小学校3・4号棟

ため、市民らでつくる検討委員会の設置条例案を提出したが、昨年の市議会で3度否決された。このため、これまで明倫小学校の敷地内にあった孔子廟こうしひやうの移転復元と一括して検討してきたが、孔子廟と切り離し、3・4号棟について個別に検討することとした。担当窓口は、今年4月に新設された萩市産業戦略室（08388・255・3351）。



# 「イージス・アショア」配備候補地の萩市と阿武町 住民説明会では不安と反発が相次ぐ

地上配備型の弾道ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備候補地となった萩市、阿武町は防衛という国策に揺れている。

政府は、「イージス・アショア」2基で日本本土をカバーするため、山口、秋田、両県の陸上自衛隊の演習場に配備し、2023年度からの運用を目指している。

配備候補地となった陸上自衛隊「むつみ演習場」のある萩市、演習場近くに福賀地区がある阿武

町では、北朝鮮の弾道ミサイル対応を理由に導入を急ぐ政府への反発が強まっている。

防衛省による2度目の地元住民向けの説明会が萩市と阿武町で4回開催され、延べ600人が参加した。防衛省戦略企画課の担当者などが、イージス・アショアの必要性、配備候補地選定の検討過程、配備に伴う周辺への影響などを説明した。

地元では、地上施設のレーダーが放つ電磁波による健康被害を心配する声や、他国の攻撃

目標にならないかといった懸念が根強く、出席者からは反対や不安の声が相次いだ。

## ■イージス・アショアとは

□なぜ、必要？

北朝鮮の核・ミサイル開発を「重大かつ差し迫った新たな段階の脅威」と位置づけ、弾道ミサイル攻撃に対して常時・持続的に全国を防護するため、陸上イージス2基の導入を決めた。海上のイージス艦に対

して、陸上（アショア）の盾（イージス）を意味する。

□どんな装備？

弾道ミサイルを、地上から迎撃するシステム。高性能レーダーで弾道ミサイルを探知し、迎撃ミサイルを発射する。費用は1基約1340億円程度。

米軍は2016年にルーマニアで運用開始、20年にポーランドに2基目を配備予定。ハワイ・カウアイ島に実験施設。

□なぜ、むつみ演習場？

全国の自衛隊施設を対象として配備先などを分析し、山口県付近と秋田県付近に配備した場合、2基で最もバランスよくわが国全域を防護することが見込まれた。

□北朝鮮情勢が変わったけど、まだ必要？

現時点で北朝鮮の弾道ミサイル能力は何ら変わらない。いかなる事態にも対応できる万全な備えが必要だ。

\*（防衛省の説明会資料等から）

## ■これまでの経緯

□17年12月19日 政府がイージ

□読売新聞 配備の意義を丁寧に訴えたい（6月23日）

「将来の脅威に備え、防衛力を着実に整備していくことが欠かせない。東アジア各国はミサイル開発を進めており、その防衛は優先課題だ。（中略）住民に対する説明会を重ね、不安の払拭に努める必要がある。」

□朝日新聞 陸上イージスは再考を（6月27日）

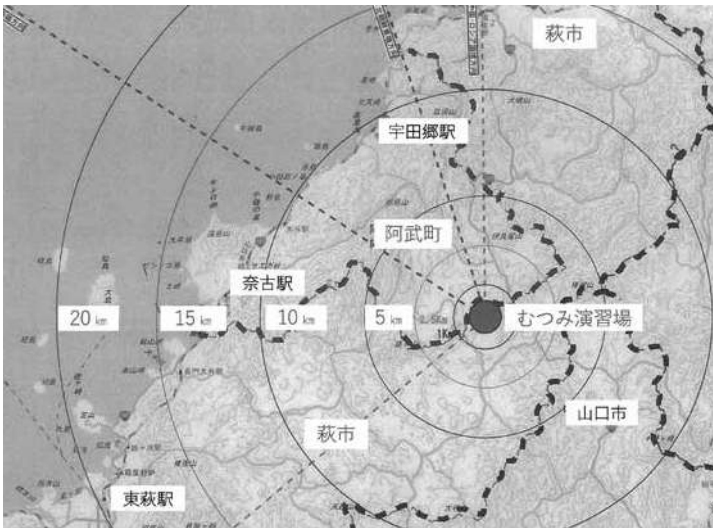
「安倍政権は、このまま北朝鮮の脅威を理由に、防衛力強化を推し進めるつもりなのか。（中略）陸上イージスも、導入の是非を含め、再考すべき時だ。」

□産経新聞 国民を守る上で不可欠だ（8月2日）

「日本をとりまく安全保障環境を考えれば、弾道ミサイルや巡航ミサイルの脅威が消え失せることは当面考えられない。（中略）国民の安全を重視する観点から、導入を急ぐべきである。」

□毎日新聞 導入経費、膨れ上がる危険（8月7日）

「昨年12月、北朝鮮の脅威を理由に、性能や価格の詳細な検討は後回しにして、導入方針を閣議決定した。拙速に過ぎたのではないか。（中略）費用対効果などで納得のいく説明がないままでは、配備先の自治体、住民が反対するのも当然だ。」



住民説明会で配布された影響図（阿武町編集加工）

## ■主要新聞の社説では

# 和田 幸子さん

（東京都在住、59歳）



和田幸子さん

## 会員制情報誌「やまぐち食べる通信」を創刊

2016年3月、山口県の生産者を紹介する『やまぐち食べる通信』を創刊しました。『食べる通信』は、1次生産者とその食材への思いを伝え、作る人と食べる人をつなぐ、食材付きの会員制情報誌です。全国各地域でもさまざまな食べる通信が発行されています。都市に人口が集中し、地方を知らない人が増えました。農業・漁業関係者の後継者不足で、食料自

年）は長州士族の反乱があり、玉本文之進（正韮）は、11月6日、先祖の墓前で自刃し乱の責任をとります。関係者には親族も含まれていました。数カ月後、戦死した正誼（文之進の養子）の妻の豊（杉民治長女）は、正之を出産。正之は13歳で上京し乃木希典（正誼実兄）宅で育ち、職業軍人になりました。

## 玉本文之進の玄孫

実家の戸籍は玉本文之進旧宅です。13年11月6日の萩団子岩の墓所の玉木家祖霊祭では、亡くなった父の納骨も行いました。働き盛りの頃は多忙で、先祖に漠然とした興味を持つのみでした。手続きの必要から取り寄せた戸籍で、吉田松陰の実兄杉民治が高祖父であることに衝撃を受けました。玉本文之進と杉民治は、山口県内広域にわたって代官を歴任していたのをご存知でしょうか。

『やまぐち食べる通信』の取材先は、彼らが担当した地域（吉田、美祢、舟木、阿東、徳地、奥阿武、本郷台等）と重複しています。防長四白（米・塩・紙・蠟）は萩藩の主要な財政基盤でした。そこで名代官と伝承された先祖を知り、食の掘り起こしに肯定感とプライドを持つようになりました。私は、302年続いた玉木家を

続けることができませんでした。しかし、山口県という地域を、食を通じて発信し広めることも、一つの貢献と信じています。県内あちこちをカメラマンと周り、編集・執筆・料理制作・英訳など行っています。

## 食材のセレクトショップ「アニエス・レピスリー」

09年起業の食材のセレクトショップ「アニエス・レピスリー」（東京神楽坂）では、食文化を広めるイベントを定期的に開催しています。今年も明治150年でもあり、平成薩長同盟&フレンズという交流会を始めました。中心メンバーは、鹿児島縁の俣野グレイゆき子氏、萩ゆかりの鮎川純太氏、鹿児島に縁の深い近衛忠大氏で、国際的なネットワークを持つ人達です。その他、萩や山口の産品を使った料理教室、地酒の利き酒。山口ツアーなども行っています。

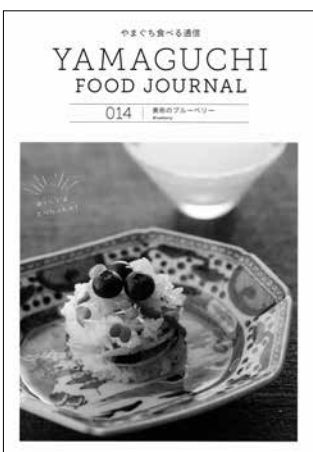
8月17日〜24日には、『やまぐち食べる通信』を通じて東大教養学部の地域研究ゼミ生たちと1週間の山口スタディツアーを行いました。ささやかな草の根運動ですが、1人でも仲間が増えれば何か起こせる、と信じています。どうぞ『やまぐち食べる通信』を購読し、仲間になってください。

■プロフィール  
・学歴／湘南白百合学園小学校・白百合学園中学・高等学校を経て、成蹊大学法学部政治学科卒、中央大学法学部国際企業関係法学科博士課程前期修了

・職歴／富士通株式会社勤務後、スイス・ユニオン銀行東京支店に転職。メリルリンチを経て、JPMorgan、Morgan・Stanleyのヴァイスプレジデント。専門はISDAネゴシエーター（金融デリバティブ法務契約）

・2009年アニエス・レピスリー創業、16年「やまぐち食べる通信」発行人、17年SWプロジェクト株式会社代表取締役  
・資格等／日本ソムリエ協会 ソムリエ、英国クリスティーズ社近代西洋美術史ディプロマ、近茶流教授（江戸懐石）

・玉本文之進玄孫・玉木正誼曾孫  
■購読申込はホームページから「やまぐち食べる通信」で検索  
14号「美祢のブルーベリー」  
3980円（送料税込込み）





「菜々色マルシエ通信」

新米ご予約受付中

「今日のご飯は新米よー」そんな季節がもうすぐやってきます。炊飯器を開けたとたんに立ち昇る甘い香りとつやかな白。炊き立て新米ご飯の、あの特別感といたら。日本人に生まれたことを感謝する瞬間と言っても過言ではありません。

菜々色マルシエの店頭では9月に入ると、萩市各地の新米が続々と並び始めます。やはり王道は「コシヒカリ」ですが、近年食味の良さで話題の「きぬむすめ」や粘り

気があり冷めてもおいしい「ミルキークイーン」など品種も様々。「我が家はこれ！」といった定番がありつつも、メニューによってお米を使い分けしてみるのも楽しいですよ。

道の駅萩往還限定米

「黒ヶ谷」

昼夜の寒暖差が激しい山間部に位置する萩市佐々並。豊かな清流に恵まれたこの地は、萩の米どころの一つ。道の駅萩往還のブランド米「黒ヶ谷」は、佐々並地域の中でも特に標高の高い黒ヶ谷集落で、柔らかでふくよかな粘土質の土壌を有する特別に優れたわず

四枚の水田のみを指定した超限定米です。

生産者の高木さんは江戸時代より続く農家の8代目。先祖代々大切に守り継がれてきた水田に、清らかな湧き水を直接引き入れ、化学肥料を使わずに昔ながらの堆肥を使った土づくりにより手をかけ育てたお米です。人と大地と水の結晶とも言える一粒。新米のこの時期にこそ味わっていただきたい逸品です。

また高木さんがリーダーを務めるグループにより同じ集落で生産される「九郎米特選」も、菜々色マルシエのお米部門人気ナンバーワン。年間を通じて多くのお客様にリピートいただいています。



道の駅萩往還限定米「黒ヶ谷」(精白米5kg) 3780円※ギフト用木箱別

道の駅萩往還

TEL (0838) 222-9889  
WEB 「道の駅萩往還」で検索  
全国配達いたします。

道の駅・萩しーまーと通信 旬のお魚「萩のキジハタ」

「冬のフグ、夏のアコウ」といわれ、薄造りの刺身は絶品

地方名は「アコウ」、萩では「あかみず」の呼び名で知られる高級魚です。体の表面はあずき色をしていて、鮮やかな朱色や黄色の水玉模様があります。

身は弾力のある白身で「冬のフグ、夏のアコウ」といわれるほど、薄造りの刺身は絶品です。日本では特に日本海沿岸や瀬戸内海に多いと言われ、萩の市場にもよく水揚げされています。

キジハタは、海水が流れ潮通しの良い岩礁帯に生息する魚で、エビやカニといった甲殻類やアジなどの小魚を食べています。この魚の珍しい性質は生まれたときにメスでも、体長が30cmに達したところからオスに性転換するものがあるという点です。一緒に暮らしている仲間の存在によって、性転換の仕方が異なることも知られています。成長すると最大で体長が50cmに達します。

山口県ではキジハタの資源増大を図るため、平成24年度から種苗の量産化や放流を行っており、全長30cm未満のキジハタは漁獲できず、一定以上の大きさに達したものの漁獲が許可されています。

持込料理(BYO方式サービス)を始めました

道の駅萩しーまーとは、鮮魚売場で購入した好みの萩産魚介をレストランに持ち込んで食べられるBYO (Bring Your Own) 方式のサービス「持込料理」を、7月25日から開始しました。

・実施日 平日(月曜〜金曜) 11時〜14時(GW、盆、年末年始は除く)

・内容 鮮魚店で好みの魚介を購入し、下処理を済ませてから館内レストランに持ち込み、刺身・揚物・焼物のうち2つまでの調理法で味わうことができます。

・調理代 1人につき540円(税込)

・持込数量 1グループ2品(匹)まで

・持込対象魚種 萩産のアマダイ、ケンサキイカ、瀬つきあじ、マフグ、イサキ、キジハタ、マダイ、アオリイカ、ウニ、アワビなど旬を迎えたお勧めの地魚

TEL (0838) 244-4337



持込料理 刺身と揚物



キジハタ寿司



キジハタ

## 奈古の老舗酒造、34年ぶりに復活

### 阿武の鶴酒造 合資会社

りゅうたろう  
**三好 隆太郎** さん (34歳)



三好隆太郎さん



日本酒「阿武の鶴」と  
新銘柄「三好」



阿武の鶴酒造

阿武町奈古に酒蔵を構える阿武の鶴酒造（大正4年創業）。日本酒消費が低迷していた1983年から自社製造を休止して、販売のみの酒蔵となっていました。2014年、生家に戻り、34年ぶりに酒造りを始め、わずか2年で「サケ・コンペティション」をはじめ9つの賞を受賞するまでとなった「阿武の鶴酒造」の杜氏・三好隆太郎さんにお話を聞きました。

#### 自分が求める「ものづくり」

蔵元に生を受けながらも物心つく頃には製造を止めていましたので、学生時代に杜氏になるとか、

酒造場を継ぐとか考えることは全くなかったです。高校時代は部活に夢中で、進路を決めなければいけない頃には、将来は建築やデザインの仕事に就きたいと思うようになり、東京の大学に進学しました。大学生時代は国内を旅行しながら、各地の建物を見て回ることが趣味で、卒業後は大手アパレル会社に就職し、内装デザイナーとして新規出店の仕事に携わっていました。

ものづくりの仕事をしたい程度は、もともと人に近い暮らしの中にあるもの、身近に馴染むもの、一人ひとりに対して喜びを与えるようなものづくりをしてみたいと強く思うようになり、2008年にアパレル会社を退職します。

#### ハローワークで

転職となったのは、退職後に足運んだハローワーク。酒造場が季節雇用の求人を出していて、千葉県蔵元の蔵元に行き、その後、埼玉県、岐阜県、青森県の蔵元を渡り歩いて、酒造りを学びました。

当初はものづくりの一つとして、日本酒を造ることに向かい合っていたので、阿武の鶴酒造を復興しようとも考えていなかったのですが、各地で出会えた酒造りの先輩方とお話させてもらうちに、新規で酒造免許を取得するのはとて

も難しいことを知り、製造を止めていたが阿武の鶴酒造に酒造免許は残っていることを父から聞き、休眠状態にあった実家の蔵で酒造りをしてみたいと考えるようになりました。

#### 再興に向けて

2014年に地元に戻り、まずは長いこと使われず三好家の倉庫にもなっていた酒蔵の整理から取りかかり、整理し稼働できる状態にするまで約1年を要する大仕事となりました。また、同じく苦労したのは資金面でした。修行はしていたものの、酒蔵として製造の実績がないということで融資を受けることができませんでした。その状況に手を差し伸べてくれたのが、澄川酒造さん（小川地区）で、澄川さんの醸造タンクを貸してもらい、2期ほど自らの手で「阿武の鶴」を製造させていただき、実家の酒蔵に再び火を灯すことができました。

1期目となる平成27年度（酒造年度）は4千本、2期目は澄川さんの酒蔵と自社の酒蔵にて新銘柄「三好」と合わせて8千本、3期目は自社だけで1万5千を製造し、その全てを完売。手応えを感じることも、足りないところ、取り組むべきことを明確にすることができました。

#### 地元貢献のツール

2万本の壁を設備的な改善で越えるだけでなく、認知度を上げ販売を増やさなければなりません。製造量を増やしても品質を落とさない技量も必要となり、人材も必要とされます。働いていただく方は、ほぼ地元の方。そして、弊社では9割を地元の米を使用しており、当たり前ながら地元なくして成り立ちません。

阿武の鶴酒造のお酒を多くの人に飲んでもらえれば、多くの人に阿武を知ってもらえるだけでなく、地元にも貢献できるツールとなれると思います。そのためには、飲んでいただけるお酒を造ることを念頭におき、造り手としてしっかりとやっていきたいと思っています。

#### ■阿武の鶴酒造合資会社

〒759・3622 阿武町奈古  
2796

(083388・2・2003)

#### ■三好隆太郎さんプロフィール

1983（昭和58）年阿武町奈古生まれ、奈古小・奈古中卒、萩高校平成14年卒（54期）。東京の大学で建築を学んだ後、デザイナーとして大手アパレル会社に勤務。2014年、34年間休業状態の実家・阿武の鶴酒造を復活させるため帰郷。16年、醸造を開始。看板銘柄「三好」を立ち上げる。



## 田町商店街振興組合が「萩の方言」を発行



「萩の方言」を紹介する久保吉史理事長

空き店舗問題に直面しているが、最近では、やなぎもと接骨院、インド料理ナマステキッチンなどが開業した。

理事長の久保吉史さん（きくや代表、58歳、萩商業高校昭和53年卒）は「地域全体が盛り上がることで、商店街も盛り上がる。方言も文化を発信する一つの手段として、昔を思い出していただきたい。商店街の生き残りのために、人と人のつながり、コミュニケーションの場を大事にしていきたい」と話している。

■掲載例 ああぬく（上を向く）、かばち（文句を言う）、さでくりだす（放り出す）、たっける（叫ぶ）、ほろける（落ちる）、やしをする（ずるをする）

■田町商店街振興組合連合  
萩市東田町84・2  
(0838・26・2201)



「萩の方言」 56の方言を紹介

## 飲食業組合萩支部が「萩の夜を愉しむ」を発行



「萩の夜を愉しむ」を紹介する河村剛太郎支部長

賑わったという、地元根付いている歴史がある。「萩の一押しグルメをママさんに聞いたり、地元の常連さんとの触れ合いなど、萩の隠れた魅力がそこにある。方言など萩の文化が夜の町に詰まっている。

萩出身者の方も、このマップを手にも、夜の萩の新たな魅力を感じて欲しい。

ホテル、旅館、飲食店、観光協会などで無料配布している。

■山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部  
萩市江向327・8  
(0838・25・6900)

路地のネオンに灯りがともれば、萩の隠れた魅力が顔を出す

山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部は、夜の萩の魅力を伝えるため、40店のナイトスポットを紹介したパンフレット「萩の夜を愉しむ」を初めて発行した。

組合に加盟している五間町、東田町、吉田町などのスナック、バーなどの店内写真、ママやスタッフの写真、定休日などとともに役立つPRコメントも掲載。マップに合わせ、初めての人も安心して入店できるよう料金も明記。

萩支部長の河村剛太郎さん（割烹千代代表、52歳、萩高校昭和60年卒）は、「観光客で飲食店は賑わうが、夜に出歩く観光客は減っている。夜の町が賑わうことが、観光の町の賑わいとなる。夜の萩を盛り上げようと企画した」と話している。

萩は人口のわりにスナックが多いと言われる。昔からの漁師町で、かつては越ヶ浜、玉江浦の漁師で大いに



「萩の夜を愉しむ」 40店のナイトスポットを紹介

# 連載 萩の産業遺産を歩く (八)

## 火薬精錬所跡―

道迫真吾 (萩博物館主任学芸員)

### 銃砲用火薬の生産拠点

これまででは大砲を中心に、火器(ハード)の生産拠点を見てきたが、今回は銃砲(鉄砲・大砲)を撃つ際に不可欠の火薬に焦点をあてることにする。ただ、史料があまり残っていないため、断片的ではあるが可能な限り情報を集め、紹介させていただきたい。

史料によれば、長州藩は火薬の製造も自力で行っており、火薬精錬所の所在した場所としては、萩市椿東の中津江及び上津江という二つの地名が出てくる。火薬精錬所の跡地は、現在、阿武川沿いに設置された萩市浄水場(上水道水源)の敷地の一部になっているとされ、「中津江火薬製造所」と刻まれた石碑が建てられている。ここは、発掘調査がまだ実施されていないだけでなく、「萩

市内周知の埋蔵文化財包蔵地一覧表」にも載せられていない。こうした状況であるため、この地域にお住まいの詳しい方以外には、ほとんど知られていないのが実情であろう。

ちなみに「せいれん」という語は、漢字の書き方によって微妙に意味が異なる。「精錬」は原料鉱石から不純物を除いて純度の高いものにする事、「製錬」は鉱石から金属を取り出して精製・加工すること、つまり金属の抽出から地金を得るまでの全工程を指し、冶金とも呼ばれる。このように、「せいれん」は元来、金属の製造に関連する用語であるが、火薬の「せいれん」という場合は「製錬」よりも「精錬」、すなわち不純物を取り除いて純度を高めるといった意味のほうが近いように思われる。よって小稿では、史料を引用する部分以外、「精錬」と表記する。

### 火薬精錬所の設置と爆発事故

手始めに、『萩市史』の第三巻をめくると、長州藩の火薬製造について、次のような説明がある。

すなわち、「萩藩の火薬精錬場は安政五年(一八五八)十一月ごろすでにあり、服部太八が主任となっていた。文久元年(一八六一)上津江に新設されたが、慶応二年(一八六六)六月二十七日に爆発し、被災者の供養碑が近くの龍蔵寺境内に建てられている」というものである。実質二行程程度の記述しかなく、精錬所について判明している事実は、たったこれだけな

のかと愕然とさせられる。これを『もりのしげり』でも確かめてみると、「旧長藩職役一覽表」に「製錬方」という項目があり、文久元年(一八六一)に火薬製造役として萩・山口両所に置かれたという。また同書の「毛利氏史要年表」には、慶応二年六月二十七日、精錬所が爆発して焼死者十三名、負傷者若干名を出し、焰硝二千貫目と硝石八千貫目を焼失したとある。

被災者の供養碑は、今も中津江の龍蔵寺に祀られている。その表面には「製錬局役夫十三人之墓／慶応二年丙寅／六月廿七日死亡」との文字が刻まれている。なお、山口の天花村(現山口市

天花)に置かれた火薬精錬所も、慶応三年三月十七日に爆発事故を起こした。この時は焼死者十六名と負傷者若干名を出している(『もりのしげり』)。長州藩が設置した萩・山口の火薬の製造拠点は、爆発事故により失われたのである。

### 文書館で新たに見つかった資料

最近、山口県文書館で予期せぬ資料(史料)に出くわした。吉田樟堂文庫の「沖原鑄造方址」という資料に含まれる、「上津江火薬製造所」という簡単なメモがそれである。このメモは、山口中学校や萩中学校などの教職を歴任し、毛利家編纂所の三卿伝編纂事業にも従事した吉田祥朔(しょうさく)氏のものである。吉田は昭和八年に東京に移住したとされるので、それ以前に作成したものと思われる。現在では得られない情報が含まれているので、意識して紹介する。

「(火薬製造所は)龍蔵寺の上方、阿武川岸にあり、水車のあるところはその中の一節である。土地はさほど広くないが、ここで硝

石を製し、また硫黄華を造った。硝石の材料は人家の床下の砂土を取り、硫黄は薩摩より輸入した。製造の技術者は初め徳山の服部太八(大島郡出身)だったが、服部のついで信州人の小澤重介を徳山より招いた。明治年間まで継続した」。

右に見られるように、昭和初年頃はまだ火薬精錬所の水車が残っていたのかもしれない。また火薬の製造に必要な硝石と硫黄の入手にも触れている。当時の銃砲に使用した火薬は黒色火薬と呼ばれる(現在の銃砲にはほぼ使われていない)。黒色火薬は最古の火薬とされ、組成は硝石(硝酸カルウム)六十〜八十%、硫黄十〜二十%、木炭十〜二十%である。なお硫黄華は、硫黄の蒸気を急冷して固化させることで得られる粉末をいう。昇華硫黄ともいう。

火薬精錬所についてはまだわからないことが多いが、少しずつ資料を集め、具体的にゆききたい。

龍蔵寺(中津江) 被災者の供養碑



中津江火薬製造所址





## 山口県内初の試み 「第1回ABUスイムラン大会」

スイムラン大会で、阿武町をさらにアツく

毎年夏恒例となった日本海イカダ大会。今年はさらに、「ABUスイムラン大会」も同時開催され、真夏の阿武町をさらにアツく盛り上げました。

開会式で花田町長は「山口県内で初の試みとなるスイムラン大会が開催できてとてもうれしく思います。今回限りではなく、来年以降も続けて開催できるように、また、



スイムは鹿島湾を2往復する1.5kmのコース



沿道ではランナーにホースで水をかける場面も

バイクも加えて、トライアスロン競技として大会が開催できるようにしたい。そのためには、選手やスタッフの方々はもちろん、地域の方々にもご協力いただき、地域とふれ合いながら阿武町を感じてほしい」とあいさつしました。

### 選手と地域のふれあいも

スイムは鹿島湾を2往復する1.5kmのコース。海沿いには大勢の観客が集まり、目の前を泳いで通過していく選手達に拍手や声をかけて応援していました。

ランコースのエイド（水分補給等）ポイントでは、スポーツ少年団による水分提供が行われたほか、沿道では地域の方々が力強く応援。暑い中を走るランナーのために、ホースやバケツで水をかける場面も。競技だけでなく、選手と地域の方々とのふれあいも多く見られました。

## 秋・明倫学舎通信

### 全長90mの廊下でぞうきんがけリレー

7月21日に「秋・明倫学舎ぞうきんがけリレー」レース2018を開催しました。このイベントは、秋・明治維新150年祭の一環で夏休み初日に「小学生」限定で行いました。明倫小学校卒業生には掃除時間を思い出す、懐かしい光景ではないでしょうか。

日本最大級の木造校舎「秋・明倫学舎」の本館

は、廊下の長さ約90mあります。4人1組で1周180mを雑巾がけでリレー。低学年の部と高学年の部の2部門に分けて募集。秋市内はもちろん、山口市や益田市などから全39チームの参加があり、156名の激戦となりました。レースをする小学生の熱気に時間を忘れて、熱い応援の声が学舎内に響きました。



90 mの廊下を雑巾がけする小学生

### 10月はおばけ屋敷「秋・明倫学舎ホラーナイト」

10月27日（土）「秋・明倫学舎ホラーナイト2018」をあれから150年を記念して開催します。実際に秋であった話を基に、夜の明倫学舎本館を利用した、おばけ屋敷です。事前申込制で10月10日までに、NPO明倫学舎ホームページからお申し込みください。

### ■NPO秋明倫学舎

(0838・21・0304)

### 超小型電気自動車とシェア電動自転車の貸出が始まりました

秋市観光協会の市内移動充実事業として、8月1日から11月30日まで導入された。

□超小型電気自動車COMS（1人乗り、6台）

・明倫学舎で貸出

・1時間11500円、以降1時間延長ごとに1000円

□電動アシスト自転車（15台）

・明倫学舎、秋バスセンター、東萩駅、リゾートホテル美萩で貸出

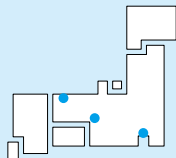
・料金 30分1150円、以降30分ごとに100円、1日11500円

■秋市観光協会  
(0838・25・1750)



1人乗りの超小型電気自動車とシェア電動自転車

## 同窓会・同郷会だより



情報  
ください  
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

8月8日 萩高校体育館(萩市)

### 第69回萩高校同窓会88会



野村興兒会長(左)、  
村田昌志前会長

野村前市長が  
萩高同窓会長に

今年の引受期は平成15年卒、55期。テーマは「Go!Go!」。来賓あいさつで藤道萩市長(30期)は、来年の明倫館創建300年に合わせ、全国各藩の子孫が一堂に会する「第17回全国藩校サミット」を萩市で開催することを宣言した。

役員改選が行われ、副会長・会長を合わせて24年間務めた村田昌志会長(4期)に代わり、野村興兒前市長(15期)が同窓会長に就任した。野村会長は「再来年は萩高校創立150年の節目の年となる。現在国では、学校を地方創生の拠点にしようとしている。同窓会として支援していきたい」とあいさつした。

7月28日 MID STAND TOKYO(東京都千代田区)

### 萩っ子パーティー



在京の萩市出身者でつくる一般社団法人・萩大志館が、20~50代限定の「萩っ子パーティー」を東京・神田のイベントスペースで開いた。パーティーは2016年以來で4回目。今回は年齢層を限定し、小規模に開催した。

約40人が萩の郷土料理や地酒を楽しみながら、萩弁で語り合った。鎌倉市を拠点に活動する萩市出身の料理人「もりえり」こと守永江里さんとのコラボ企画で、守永さんが郷土料理を振る舞った。参加者全員が東京での仕事を紹介するなど、萩を離れても萩のために何ができるか、熱く語り合いました。

会員投稿



6月24日

ニューオータニイン東京(品川区大崎)

### 第26回ふるさと萩・小川会



今年で26回目を迎え、20名が出席しました。「皆さんに喜んで頂き、思い出に残る会にしたい。ひとりでも多くの会員に出席していただくため、情報提供をお願いします」と会長から挨拶がありました。近況報告とカラオケで盛り上がり、お土産にいただいた東洋美人を各自手に来年の再会を約束して散会しました。

総会中に、NHK「チコちゃんに叱られる」の突撃インタビューを受けました。放送は9月14日(金)の予定。

総務事務局・会長 佐伯雅人(埼玉県新座市)

会員投稿



6月24日 太閤園(大阪市)

やまなみ

### 関西山峡会 30周年記念総会



30周年記念という大きな節目を迎え、会員ほかご来賓を含め総勢66名と過去最多のご参加をいただきました。

懇親会は、歌手大倉弓季さんによる歌のご披露やハグパイプの演奏など華やかなアトラクションでスタート、その後方言クイズ、カラオケ大会に合わせて自由なダンスや抽選会などで大いに盛り上がりました。最後に参加者全員で万歳三唱と一本締めで来年も元気な再会を誓い合いました。

企画委員 堀野克麿(大阪府茨木市)



会員投稿 

5月31日 萩本陣（萩市）

## 萩高11期(昭和34年卒) 懇親会



益田出身の級友が、二条川のホテルがとても幻想的で魅惑的との話に、東京や萩などから23名がホテル観賞に集まりました。川面に乱舞するたくさんのホテルの華麗に点滅する灯りと、久し振りに会う級友達との会話に、時間を忘れて興じました。

翌日は、津和野を観光して萩に入り、夕方の萩本陣での懇親会には38名が参加しました。淡く、楽しく、懐かしい青春の日々が胸一杯に拡がり、友の顔は輝いていた18歳の顔となっていました。

東京幹事会 玉井知正（東京都世田谷区）

会員投稿 

5月16日 ホテル京阪京橋グランデ(大阪市)

## 萩商工高商業科38年卒同期会



1963年3月卒業以来、今回が10回目。懇親会を閉会後も場所を移してホテルニューオータニの最上階「ザ・フォーシーズンズ」から眺める大阪の夜景と、ライトアップされた大阪城を見下ろしながら閉店時まで宿泊者の大半が歓談。翌日は大阪城天守閣、水上バスアクアライナーで大阪・大川を周遊する川面からの大阪散策に大勢が参加。

出席者自身の健康はもとより、配偶者・家族のご理解とご協力があってこそこの会合です。

横山 博（京都府八幡市）

会員投稿 

6月19日 常茂恵（萩市）

## 萩高校12期(昭和35年卒)喜寿の 集い



喜寿のお祝い同窓会を、全国から82名(男35名、女47名)の参加をみて、盛大に開催しました。

これまで40回以上の同期会を開催しているが、また格別の想いがありました。431名卒業した仲間の内、70人以上の物故者への黙祷を捧げ、59年前の幼顔が残っているもののこの歳まで頑張ってきた人生をその顔に刻んで、旧交を温め懇親の花が乱れた、たった3時間が、あっという間に経ちました。ただ懐かしく、ひたすら懐かしい故郷・萩の、萩高12期生の団結と誇りを確認した一時でした。

幹事代表 山中信助（萩市椿）

会員投稿 

5月26日 フェローズ難波(大阪市)

## 萩商業高校昭和55年卒 同期会



萩の同級生数人が軽い気持ちで計画した大阪旅行。当日は広島、横浜からも同級生が参加。そんな私たちを待っていたのは、大阪の同級生のとても暖かいおもてなしでした。何十年ぶりの再会もあり、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

次の日には、奥様方による大阪観光。昼食は大阪名物串揚げで2日目の同窓会を開催。帰りは新幹線ホームまで見送り。最後まで最高のおもてなしで私たちを楽しませてくれました。

引受期代表 小原浩二（萩市平安古）

# 情報アラカルト

## 関東地区

### ■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月27日(土) 午後2時30分～

東京都千代田区丸の内(東京駅丸の内北口) 日本工業倶楽部

(03・3471・0286) 東京

指月会事務局(松本方)

### ■つばき会関東支部

関東地区の萩商工高同窓会。

11月17日(土) 午後2時～5時

東京都品川区大崎(大崎駅東口) ニューオータニイン東京

(090・3141・7505) 椿

### ■東京須佐弥富会

関東地区の須佐地域同郷会。

11月17日(土) 正午～午後3時

東京都港区高輪(品川駅高輪口) 日立金属 高輪和彊館

(090・2208・5873) 勝山

### ■「萩 水津和之 作陶展」

10月4日(木)～10日(水)

東京都豊島区西池袋1・1・25 東武百貨店池袋店 6階アートギャラリー

(03・3981・2211)

### ■鎌倉市姉妹都市物産展

萩市、上田市、足利市、鎌倉市。

萩市から、かまぼこ、海産物、夏みかん製品等を販売。

10月12日(金)～13日(土)

午前9時30分～午後4時30分(13日は3時30分まで)

神奈川県鎌倉市小町1・10・5

(JR鎌倉駅東口より徒歩3分)

鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉) 1階ロビー、ピロティ

(0467・255・2030)

### ■柳井嗣雄展「光を求めて」

萩市出身の美術家、和紙造形。

「樹木」シリーズに続く、「根茎

シリーズのインスタレーション。

10月20日(土)～11月25日(日)

金・土・日曜日の午後1時～7時

神奈川県鎌倉市台1752・10 POLARIS the art stage

(0467・455・2336)

### ■萩・世田谷暮末維新祭り「萩観光物産展」

萩市から、萩焼、地酒、海産物

夏みかん菓子等を販売。「萩にやん。」も登場します。

10月27日(土)～28日(日)

午前10時～午後6時(28日は午後5時30分まで)

東京都世田谷区若林(東急世田谷線「松陰神社前駅」下車)

松陰神社境内前公園、松陰神社通り商店街

(問) 萩商工会議所

(0838・255・3333)

### ■まるごとにつばん「萩の風」物産フェア

萩焼、夏みかん菓子、萩の地酒

醤油、蒲鉾など萩の特産品を販売。

11月3日(土・祝)～4日(日)

午前10時～午後4時

東京都台東区浅草2・6・7

まるごとにつばん 3階イベントスペース、1階エントランスで萩焼ロクロ実演。

(問) 萩商工会議所

(0838・255・3333)

萩焼、夏みかん菓子、萩の地酒

醤油、蒲鉾など萩の特産品を販売。

11月3日(土・祝)～4日(日)

午前10時～午後4時

東京都台東区浅草2・6・7

まるごとにつばん 3階イベントスペース、1階エントランスで萩焼ロクロ実演。

(問) 萩商工会議所

(0838・255・3333)

### ■「岡田裕 作陶展」

茶道具を中心に萩焼を展示。

11月22日(木)～28日(水)

東京都新宿区新宿3・37・11

安与ビル

柿伝ギャラリー

(03・3352・5118)

## 北陸地区

### ■「萩 水津和之 作陶展」

10月17日(水)～23日(火)

富山県富山市総曲輪3・8・6

大和富山店 5階アートサロン

(076・424・1111)

## 関西地区

### ■萩光塩学院同窓会関西支部

9月30日(日) 午前11時30分～

大阪府大阪市北区芝田1・1・35

阪急グランドビル27階

グランド白楽天

(090・2060・4633) 庭屋

### ■やまぐち地酒維新in関西

山口県酒造組合加盟の19蔵元が

出展。参加費6000円。

## 郵便局のみまもりサービス

### ○ みまもり訪問サービス

郵便局社員等(弊社が委託した者を含みます。)が、月1回、ご利用者宅を訪問し、会話を通じてご利用者の生活状況を確認し、ご指定の報告先に電子メール(PDFファイル)でご報告します。

- ・確認項目は10項目(7項目+選べる3項目)
- ・報告先は最大3名
- ・サービス料金: 2,500円/月(税抜)



### ○ みまもりでんわサービス

毎日、ご指定の電話番号へ、電話をお掛けし、自動音声に対する回答をご指定の報告先に電子メールでご報告します。

- ・「本日の体調はいかがですか」という自動音声の流れます。
- ・回答選択肢は「元気です」、「いつも通りです」、「元気がありません」
- ・報告先は最大4名
- ・固定電話コース: 980円/月(税抜)
- ・携帯電話コース: 1,180円/月(税抜)



お申込み等、詳細は萩郵便局(総務部)まで!  
電話 0838-22-0681

## 中国地区

### ■「三輪和彦 立ち立つ白展」

8月29日(水)～9月4日(火)

岡山市北区表町2・1・1

岡山天満屋 5階美術画廊

(086・231・7523)

## 九州地区

### ■九州指月会

九州地区の萩高同窓会。

9月9日(日) 正午～

福岡市博多区博多駅(筑紫口すぐ) ホテルセントラーザ博多

(093・201・6303) 廣瀬

### ■つばき会九州支部

九州地区の萩商工高同窓会。

11月10日(土) 正午～

福岡市博多区博多駅東2・10・16

川辺ビル2階

新・日本料理 海峯魯 博多店

(090・4358・2659) 竹内

### ■「次代を繋ぐ 萩焼 精鋭作家陶展」

岡田泰(萩市)、田原崇雄(長門市)、坂倉止紘(長門市)の三人展

9月20日(木)～26日(水)

大分県大分市府内町2・1・4

トキハ本店 7階美術画廊

(097・538・1111)



■明治150年特別展「手塚治虫が描いた明治維新」  
9月15日(土)～10月14日(日)  
萩博物館

■萩・明治維新150年記念式典  
10月23日(火) 午前10時～  
特別記念講演

10月23日(火) 午後5時～6時30分、萩市民館大ホール  
講師／山中伸弥教授(ノーベル生理学・医学賞受賞者)  
演題／私の修業時代・未来を切り拓く力とは、(申込終了)

■記念漫画「長州ファイブ」  
10月完成予定  
作画／桐木憲一(萩ふるさと大使)

■特別展「長州ファイブ・幕末・海外留學生の軌跡」  
10月27日(土)～11月25日(日)  
萩博物館

■「萩・食の祭典」  
文化人や芸能人など多彩なゲストも参加、萩の食の魅力を発信!  
10月20日(土)～11月11日(日)  
市内各所

■萩城下町マラソントークショー  
12月15日(土) 午後1時30分～  
講師／高橋尚子(シドニー五輪女子マラソン金メダリスト)  
演題／走り続ける中で  
チケット／1000円(販売中)  
問い合わせ 萩市企画政策課  
(08388・25・3102)

## 山口県関係

### 山口指月会

山口地区の萩高同窓会。

10月18日(木) 午後6時30分～  
山口市湯田温泉 翠山荘  
(08388・26・6500) 中原

■「第11回腕前探訪」  
山口県内のもづくり作家の紹介、作品販売。萩から止原理美(陶芸)、岩川旗店(出版)が出席。  
9月14日(金)～17日(月・祝)  
防府市戎町1・1・28  
防府市地域交流センター アスピラート  
(08355・26・5151)

## 萩市関係

### 萩商工高校同窓会つばき会

萩商工高つばき会の本部総会。

10月13日(土) 午後6時～  
会費3000円(弁当代、福引代含む)  
萩市平安古町544  
萩商工高校体育館  
(08388・22・0034)

■手塚るみ子さんトークショー「娘が語る父・漫画家『手塚治虫』」  
萩博物館特別展「手塚治虫が描いた明治維新」関連行事。  
手塚るみ子(手塚プロダクション取締役)、ゲスト 桐木憲一(漫画家、萩ふるさと大使)  
9月15日(土) 午前10時30分～  
萩博物館 講座室  
(08388・25・6447)

■「青の世界 納富晋作陶展 Tune of Blue」(仮)  
納富晋の鑑賞陶器と小品を展示。  
11月8日(木)～14日(水)  
145 West 57th Street New York ニューヨークニッポン・クラブ6階 ニッポン・ギャラリー  
(212・581・2223)

■「木戸孝允と幕末・維新」急速的集権化と「開化」の時代

出版情報

「米 国」

「千年の田んぼ」国境の島に、古代の謎を追いかけて

萩市の離島・見島に日本最古の田んぼ?だが、何のために?古代史の謎を解き明かしながら、「奇跡の風景」の謎を解く。  
青少年読書感想文コンクール課題図書(中学校の部)  
著者 石井里津子(全国棚田連絡協議会機関誌編集長)  
旬報社 1500円(税別)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑

工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

①田町商店街振興組合発行「萩の方言」を希望者に。

②飲食業生活衛生同業組合萩支部発行「萩の夜を愉しむ」を希望者に。

■応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。9月30日必着

編集後記

・イージス・アショア問題は次の3点につきる。①現在の北朝鮮情勢の中、国防のために必要かどうか。②なぜ、萩なのか。③安全なのかどうか。④他地域の情報が無いため、判断のしようがない。

①は各新聞社の社説でも賛否があるように、その政治的立場によって意見は異なる。政治信条によらない、市民レベルでの安全性に対する不安からの地元住民の反対は、現政権に対してどこまで有効なのだろうか。

・核ミサイル防衛の議論が盛んな今、平成最後の夏に見直したい映画。広島原爆後を描いた井伏鱒二原作の「黒い雨」(今村昌平監督89年)、長崎原爆前を描いた井上光晴原作の「TOMORROW 明日」(黒木和雄監督、88年)。黒木監督といえは幕末を描いた「竜馬暗殺」(74年)。原田芳雄と石橋蓮司のアウトロー演技が忘れられない。

(広報特別参写 山本章三)

「米 国」

「千年の田んぼ」国境の島に、古代の謎を追いかけて

萩市の離島・見島に日本最古の田んぼ?だが、何のために?古代史の謎を解き明かしながら、「奇跡の風景」の謎を解く。  
青少年読書感想文コンクール課題図書(中学校の部)  
著者 石井里津子(全国棚田連絡協議会機関誌編集長)  
旬報社 1500円(税別)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑

工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

「明治の技術官僚」近代日本をつくった長州五傑  
工業・鉄道・造幣の分野で活躍した山尾、井上勝、遠藤の足跡を軸に、近代国家形成期に技術官僚が果たした役割を明らかにする。  
著者 柏原宏紀(慶應大学大学院修了、関西大学経済学部准教授)

## ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838-25-3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,574人(2018年3月末現在)

## イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838-25-1750

10月1日⑧～21日⑧

◇着物ウィーク in 萩プレミアム

城下町周辺・市内各所

10月5日⑨～7日⑨

◇萩・竹灯路物語

城下町周辺

10月13日(土)・14日(日)

◇ふるさと紙芝居全国大会 in 萩

明倫学舎、萩博物館など

10月5日⑨～8日⑨

◇萩・田町萩焼まつり 田町商店街アーケード

10月14日⑩ 9:30～15:00

◇萩・魚まつり

道の駅・萩シーマート

10月20日⑩～11月11日⑩

◇萩・食の祭典

市内各所

11月10日⑩～11日⑩

◇萩ふるさとまつり

中央公園

11月11日⑩

◇萩時代まつり

市内各所

## トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

9月2日⑩、9日⑩、16日⑩、23日⑩、30日⑩、  
10月7日⑩

8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発(予定)

## 着物ウィーク



着物フォトコンテスト2017 「萩城跡を望む」惣田義弘(萩市)

## 萩の風物詩(夏)



萩・日本海大花火大会



大井～阿武町間でのサザエ採り

## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838-24-2400

### 「フランス宮廷の磁器 セーブル 創造の300年」

7月24日⑩～9月24日⑩

300年近くに及ぶセーブル磁器の創造の歴史を、18世紀から  
現代まで各時期を代表するセーブルの名品を紹介。

### 「彫金のわざと美 山本晃の詩想と造形」

10月2日⑩～11月25日⑩

光市に生まれた山本晃は、デザイナーとして東京で活動し  
た後、故郷に戻ってほぼ独学で金工の創作活動を始めた。

■観覧料 一般1,200円、70  
歳以上、学生1,000円、18歳  
以下は無料

■休館日 9月10日、10月  
15日、29日、11月12日  
いずれも月曜日、11月26日～翌  
年3月31日(予定)設備改修  
工事のため休館



山本晃 切嵌象嵌接合せ鉢「精音」  
(2017年個人蔵)

## 萩博物館だより

☎0838-25-6447

### 特別展「手塚治虫が描いた明治維新」

9月15日⑩～10月14日⑩

「陽だまりの樹」を主題とした初めての本格的な原画展覧会。  
マンガの神様と称えられる手塚治虫の生誕 90周年と明治維新  
150年とが重なる記念すべき年に、  
手塚治虫が「陽だまりの樹」で描い  
た明治維新の世界観を、直筆のマ  
ンガ原稿や収蔵資料をもとに紹介。



手塚良庵(手塚治虫「陽だまりの樹」から)  
©手塚プロダクション

### 特別展「長州ファイブー幕 末・海外留学生の軌跡」

10月27日⑩～11月25日⑩

吉田松陰はアメリカ密航に失敗  
するが、その後長州藩から5人が  
海外密航を果たす。

■観覧料 大人510円、高・大学生310円、小・中学生100円

■休館日 なし(会期中無休)